

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	でいさーびす あいりんごS		
○保護者評価実施期間	R7年 2月 1日		～ R7年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 5名
○従業者評価実施期間	R7年 2月 1日		～ R7年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 3月 19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日々の活動では、楽しさを大切にしながら、一人ひとりの興味や関心に寄り添ったプログラムを提供しています。また、年間を通じて季節に応じたイベントを開催し、四季の移り変わりを感じながら特別な時間を過ごす工夫をしています。また、全体合同の活動では、多くの人と関わることで交流の幅を広げ、新たな発見や学びの機会を提供します。加えて、日常生活ではなかなか経験できない特別な活動にも積極的に取り組み、利用者の皆さまに新鮮な体験を提供しています。	当事業所では、7つの事業所と連携し、合同活動や大人数での活動を積極的に取り入れています。大勢の前での発表や、普段経験しにくいシチュエーションを通じて、利用者様が新たな挑戦に取り組み、自信を深められるよう支援しています。これらの経験を通じて、社会性の向上や自己成長につながる環境づくりを大切にしています。	毎年新しい活動や取り組みを増やししながら、より充実した支援を目指しています。一度実施した活動はさらにブラッシュアップし、継続的に実行できるよう工夫しています。また、各職員のスキル向上にも力を入れ、質の高い支援を提供できるよう随時レベルアップを図っています。
2	各家庭の環境に配慮し、通常登校ができる児童だけでなく、不登校の児童も受け入れている点です。ご本人や保護者の意向を尊重しながら、安心して過ごせる居場所を提供し、一人一人に寄り添った支援を行っています。	業療法士などの専門的な知識を活かし、質の高い支援を提供できるよう努めています。日々の活動内容に力を入れ、学校生活が難しい方でも自分に合った活動を見つけられるよう工夫しながら、継続的に取り組んでいます。	利用者様や保護者様の意見を尊重しながら、通所支援の幅を広げることに努めています。求められる支援を的確に提供できるよう、研修などを通じて職員の知識を深め、充実した支援環境を整えていきます。
3	さまざまな家庭環境に配慮し、保護者様や利用者様の意見をしっかりと受け止めた支援を行っていることです。通所支援に限らず、居宅介護や短期入所など、必要なサービスを柔軟に提供し、一人ひとりに寄り添ったサポートを大切にしています。	利用者様一人ひとりの特性をしっかりと把握し、個別に適した支援や活動を提供できるよう努めています。また、必要に応じて他の適切な事業所を紹介するなど、利用者様にとって最良の支援が受けられるよう取り組んでいます。	契約時やモニタリング時に限らず、日頃から利用者様や保護者様の意見に耳を傾けることを大切にしています。常にニーズを把握し、必要とされる支援を的確に提供できるよう努めていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員によって支援の知識などに差が出ている事。	専門書等の知識をもっと全体で共有し、各職員も研修でなかったことをもっと現場に落とし込めるように共有していく	各利用者の特性について専門職職員を交えた会議などもっと回数を増やしていきたい。 各従業員が研修先で学んだことを実践できる状況の把握や整理をしていきたい。
2	近隣の児童クラブや児童館、町内会などと連携が取れていない。	コロナや感染所など外部との接触が難しくなってきたころから中々交流を持つことができなくなってしまった。	実際に連絡を取り合い交流が出来るように相談できる機会を設ける。 町内での催し物から利用者を含めて参加できるようにしていきたい。
3	保護者会のような保護者同士が集まれる環境が提示できていない。	普段の利用時間などで考えると中々保護者同士が都合を合わせて会う機会を設ける事が難しかったから。	保護者に実際集まってもらって家庭や学校などでの困りごとやどんな風に普段過ごしているのかを共有できる時間を提供していきたい。 複数事業所合同での活動時に保護者様にも一緒に見て頂ける環境作りをしていきたい。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 できさーびす あいりんごS

公表日 令和7年 3月 26日

利用児童数 6名

回収数 5名

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	80%	0%	20%	0%	子どもの数によっては少し狭く感じる	レイアウトの変更などをしてスペースを確保します
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	100%	0%	0%	0%	職員の人数が多く安心する	今後も適切な人数で支援をしていきます
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	80%	0%	20%	0%	玄関前に段差があり、トイレにもバリアフリーがない。	今後車椅子利用時などの受け入れも考え、スロープの購入などを行って行きたい
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	80%	0%	20%	0%	勉強机など個別に区切られていて、活動にあった空間を作っている	今後も事業所内を清潔に保ちこども達に合わせた空間を提供していきます
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	作業療法士の方もいて専門的な支援を受けていると思う	今後も勉強会などを通してより一層専門性を高めていきます
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	20%	0%	0%	80%	合っていると思う。	今後も支援内容を分かりやすく説明をしていきます
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	作成後に説明を聞くがきちんとできていると思う	今後も継続してよりよい個別計画書作成をしていきます
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	80%	0%	0%	20%	してくれていると思う。	継続して具体的な支援内容を保護者の方に説明し同意を得
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	行っていると思う。	今後も計画書に沿ってより良い支援を行っていく
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	毎月楽しめる活動を考えてくれて子供も楽しく通っている	季節の行事や地域のイベントなどにも参加できるように、活動内容を工夫しています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	80%	0%	0%	20%	機会が多々あると思う	放課後児童クラブや児童館との交流などは現状行っていないので今後取り組んでいきたい。
保護者 への 説明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%	0%	0%	0%	見学の際に丁寧に分かりやすく説明してもらった	今後も継続して分かりやすく説明を行っていきます
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%	0%	0%	0%	丁寧に説明してもらえてる	今後も分かりやすく説明をしていきます
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	0%	20%	80%	0%	しているのかわからない。行われていないと思う。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	管理者の方から連絡がきたり送迎の時に伝えてくれる	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	100%	0%	0%	0%	家庭での様子や保育園のごことなども相談に乗ってもらっている。	今後も送迎時やモニタリング時などで継続的な支援を志していきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	してくれていると思う。	今後も適切な支援を行っていきます
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	0%	20%	80%	0%	知らない、聞いたことがない	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	100%	0%	0%	0%	相談をした時にすぐに対応してくれる	今後も迅速に対応をしていきます

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	イベントの案内やわからないことは連絡したら迅速に対応してくれて助かっている	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	100%	0%	0%	0%	いつもHPやInstagramを拝見させてもらっている	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	してくれていると思う。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	0%	80%	0%	20%	よく分からない	マニュアルは作成しておりますので、保護者への説明をしていきます
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	60%	40%	0%	0%	避難訓練などしてくれている	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	60%	40%	0%	0%	行ってくれていると思う。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	60%	40%	0%	33%	送迎の時に報告してくれる	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	100%	0%	0%	0%	小さなトラブルでもきちんと報告してくれて安心している	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	100%	0%	0%	0%	休みの日にもあいりんごに行きたいと言う日もあるほど楽しんで通っている	あいがとうございます。今後も楽しい活動を志していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	100%	0%	0%	0%	満足している	今後も利用者様にご満足いただけるようなサービス提供に努めます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		でいさーびす あいりんごS		公表日		令和7年 3月 26日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	勉強部屋など児童が集中できる配置にしている。	特になし	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	基準に沿って適切に配置している。	特になし	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	75%	25%	視覚的に指示が入るように絵カード等を貼っている。	玄関の段差やトイレはバリアフリーではない為、今後スロープなどを購入をしていく	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	75%	25%	毎朝掃除場所の担当を決めて環境整備・消毒を行っている	特になし	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	こどもが落ち着ける場所などは確保している	特になし	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	年に二回人事評価シートで面談を行っている	特になし	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	年に一回おこないつなげている	特になし	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	申し送り等で職員内で共有し改善に繋げている	特になし	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0%	100%	特になし	今後は取り入れていきたい	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	外部研修、法人研修は毎月行っている	今後も継続していく	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	0%	100%	こどもの特性に合わせた支援プログラムを作成、提供している	今後も継続していく	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	モニタリングでお話している。また送迎時に様子等を聞いている	今後はもっと専門的な知識を身に付ける	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	個別計画書作成時の会議や日々の申し送りなどで共通理解を深めている	今後も継続していく	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	75%	25%	計画に沿った支援が行われるよう申し送りや、MT時に支援内容を共有している	個別での関わりなどが出来るよう申し送り時に担当や時間配分をきめるよう配慮が必要	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	87%	13%	日々行動観察をおこなっている	全従業員が理解し、できるようにしていく	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	支援内容は「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらいの内容を作成している	今後も継続していく	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	行えている	今後も継続していく	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	月間予定を作成する前には固定化しないよう工夫している	今後も継続していく	

	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	87%	13%	子どもの状況に応じて個別・集団と適切な組み合わせで支援を行っている	今後も継続していく
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	児童来所前に申し送りを行っている また、長期休み等では児童退所後や翌日に情報共有をおこなっている	今後も継続していく
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	当日ではないが翌日に申し送り時に前日の振り返りを行いその内容をグループラインにて共有している。	今後も継続していく
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	サービス確認表で日々の記録をとり支援の改善策があった場合は対応している	今後も継続していく
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	定期的にモニタリングを行いその際に内容の変更がある際にはその都度修正をおこなっている	今後も継続していく
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	68%	32%	管理者が参加しておりその会議での情報も職員に共有している	今後も継続していく
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	83%	17%	態勢は整え支援はしている	今後はよりスムーズに協力機関の方と連携をとり支援をおこなえるようにしていきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	87%	13%	多方の情報交換・情報共有はできている	今後も情報交換・情報共有をこまめにしていき、より良い支援を提供させていただきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	75%	25%	保護者経由で情報を共有している	今後も円滑に情報共有をしていきます
	28	(28~30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0%	100%	設けていない	今後研修などの機会を設けていきたい
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があるか。	50%	50%	あまり地域関連との活動がない	今後機会を設けていきたい
33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	一日の様子が分かるように連絡帳で写真を記載している 送迎時その日の様子を伝えている	今後も継続していく	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	50%	50%	特になし	家族等の参加できる研修の機会は設けていない。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	見学時や契約時に説明を行っている	特になし	
36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	子どもや保護者の意思の尊重している	特になし	
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	計画書の説明を行い必ず同意をもらっている	今後も継続していく	
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	保護者からの相談があった際には迅速に対応させていただいている	もっと専門的な知識を身に付けてより良い解決につなげる	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0%	100%	特になし	保護者会等を開催していないので今後取り入れていきたい。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	すぐに対応している	今後も継続していく
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	毎週HPやSNS等を活用し情報発信をしている	今後も継続していく
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	留意している、また新入社職員には個人情報の取扱いに関する研修等を行っている	今後も継続していく
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	絵カードやタイムスケジュールなど視覚的な支援を取り入れている。	特になし
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	50%	50%	特になし	今後開催できるように検討していく
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	各種マニュアルを策定して職員への周知もしている	今後も継続していく
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	87%	13%	業務継続計画を策定している訓練も行っている	会社全体の周知を徹底していく
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	87%	13%	受診結果等きちんとファイルにはさめている	自事業所の職員が周知できるよう徹底する
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	64%	36%	保護者から受診結果を教えてもらい周知している	自事業所の職員が把握する
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	87%	13%	避難訓練等行っている。避難経路や必要な備品等もチェックできている	特になし
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	87%	13%	年二回避難訓練等行っている。事業所内の備品チェックや室内、良く行く公園の危険個所の確認、職員間で共有もできている。	特になし
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	事案があった際は報告書の作成を行い再発防止に向けた対策の検討、申し送り時での共有を行っている	再発防止に向けて対策を検討していく。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	月に1回チェックシートを用いて防止できているか事業所で確認している。	特になし	